1.作業手順

※注意
作業中取り外した部品は再利用するものがあるので、
なくさないように注意してください。

(1)刈り取り部右下カバーを取り外します。

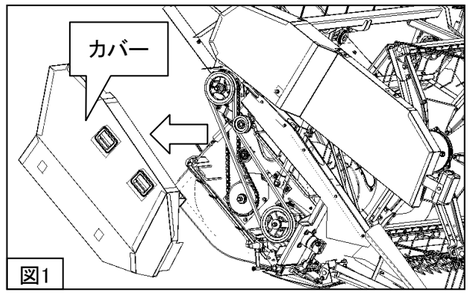


図1

(2)ノブボルトを2ヶ所取り外し、刈り取り部左下カバーを取り外します。

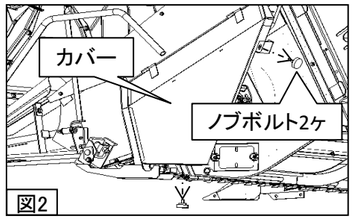


図2

(3)③シャフトRを刈取りフレーム右側面のパイプ穴に差し込むようにして
取り付けてください。

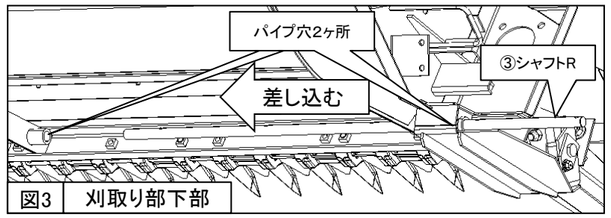


図3　刈取り部下部

同様に②シャフト Lを刈取りフレーム左側面のパイプ穴に差し込むよう
にして取り付けてください。

(4)フレーム右側③シャフトR先端に⑪スプリングR、⑦アームRの順に差し込み、
⑤スプリングピンで固定します。

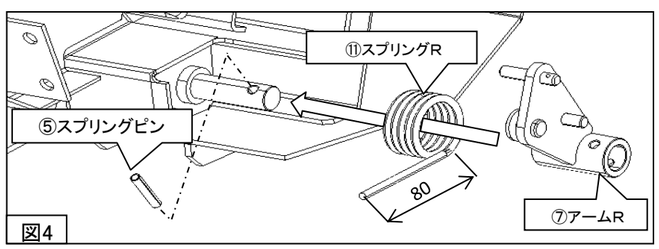


図4

このとき、⑤部品の溝が軸と直角となるよう固定します。また、⑪部品は
⑦部品のピンに引っ掛けて固定します。

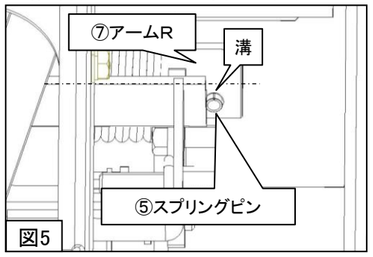


図5

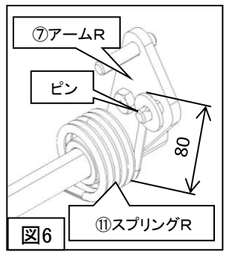
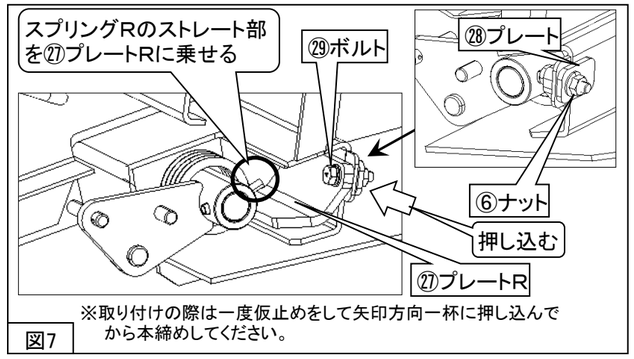


図6

(5)㉗プレートR、㉘プレートを㉙ボルト、⑥ナットで取り付けます。



※取り付けの際は一度仮止めをして矢印方向一杯に押し込んで
から本締めしてください。
図7

(6)同様にフレーム左側②シャフトL先端に⑩スプリングL、④アームLの順に差し込み、
⑤スプリングピンで固定します。

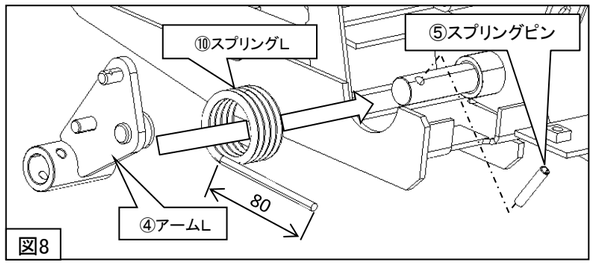


図8

このとき、⑤部品の溝が軸と直角となるよう固定します。また、⑩部品は
④部品のピンに引っ掛けて固定します。

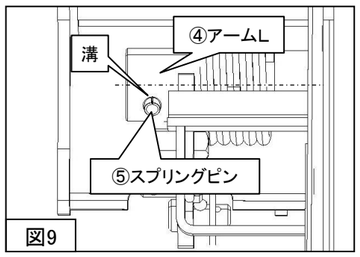


図9

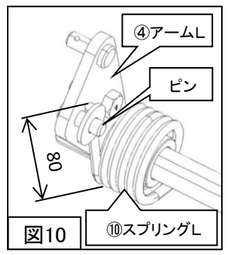


図10

(7)㉖プレートLを㉙ボルト、㉚ワッシャ、⑥ナットで取り付けます。

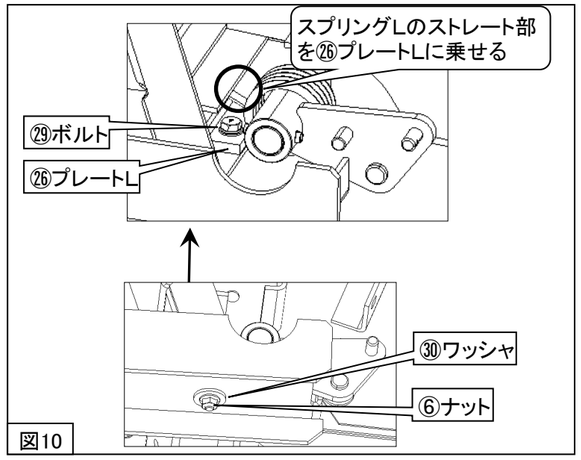


図10

(8)⑧ソリ2ヶを(3)で取り付けた②③シャフト L・Rに差し込み、
⑨ボルト／⑥ナットで固定してください。

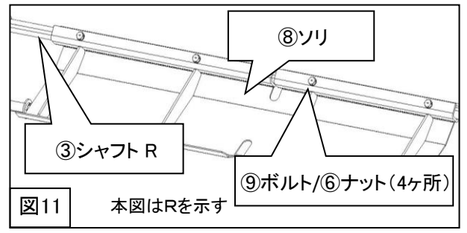


図11　本図はRを示す

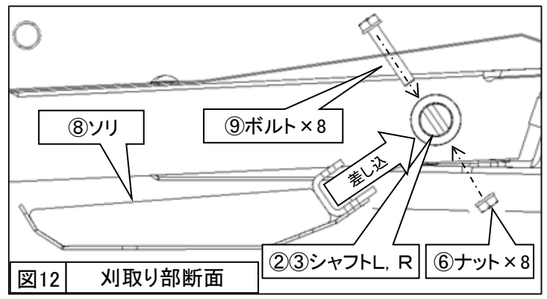


図12　刈取り部断面

(9)フレーム右側のプレートに、⑭ポテンショメータアッシRを取り付け、⑬ボルト2本で固定します。

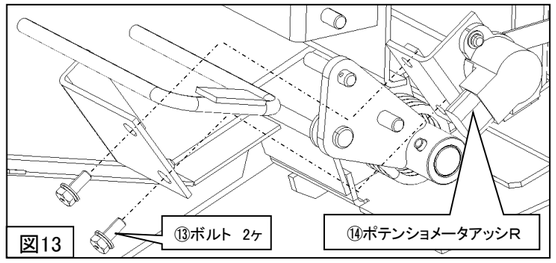


図13

このとき、⑭部品のアームの組付け方向に注意し、アームが⑦部品のピン下側となるよう固定します。

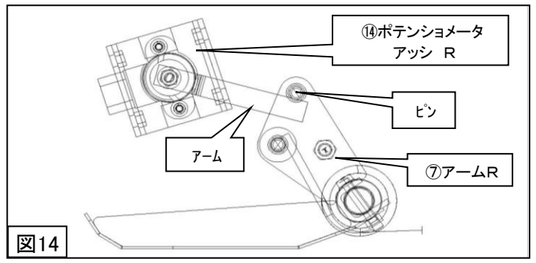


図14

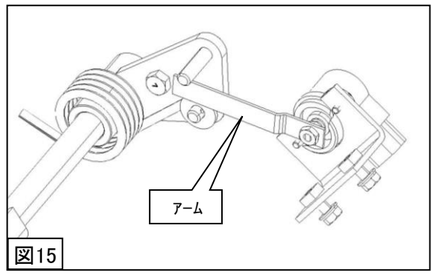


図15

⑧ソリを上に持ち上げ⑦アームRとフレームのネジ部を⑮ストッパで連結し、⑯ナットで固定します。(収納位置:図16)
また、⑮ストッパを⑦アームRに固定し、⑧ソリをフリーにした状態(解除位置:図17)で、⑧ソリが自由に回動することを確認します。

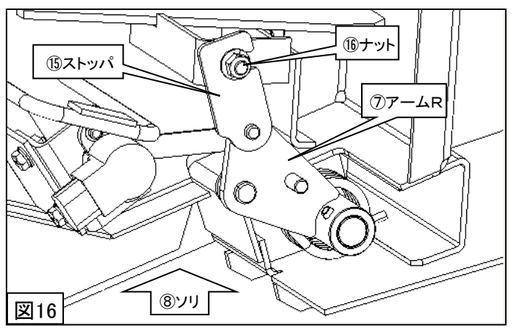


図16

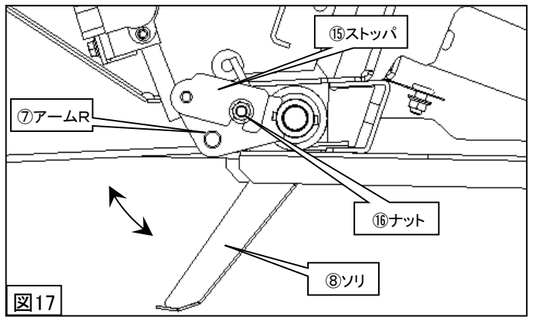


図17

(10)同様にフレーム左側のプレートに⑫ポテンショメータアッシLと⑮ブラケットLアッシを取り付け、⑬ボルト2本で固定します。

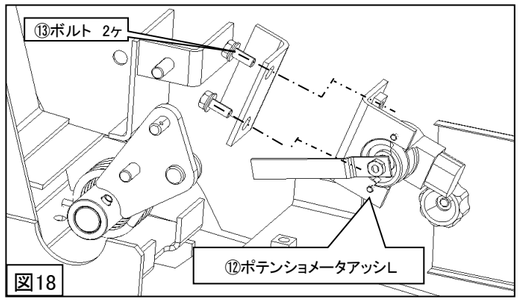


図18

このとき⑫部品のアームの組付け方向に注意し、アームが④部品のピン下側となるよう固定します。

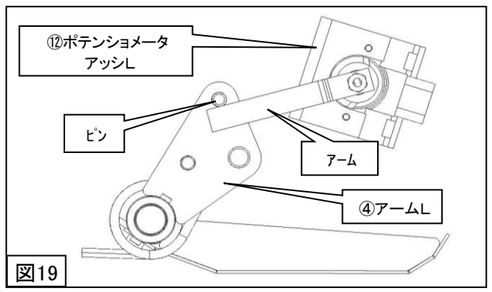


図19

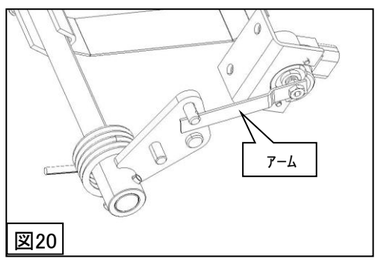


図20

⑧ソリを上に持ち上げ④アームLとフレームのネジ部を⑮ストッパで連結し、⑯ナットで固定します。(収納位置:図21)
また、⑮ストッパを④アームLに固定し、⑧ソリをフリーにした状態(解除位置:図22)で、⑧ソリが自由に回動することを確認します。

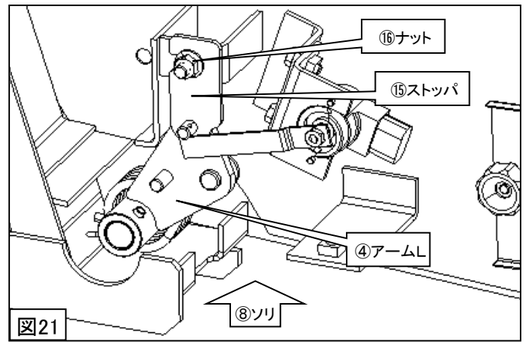


図21

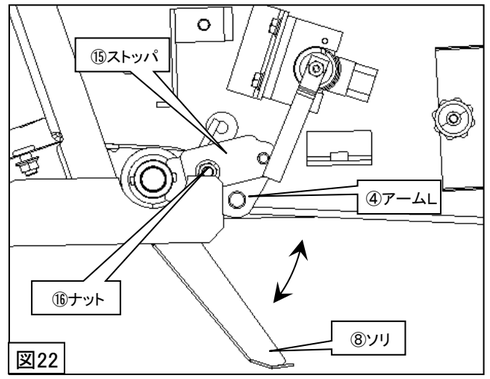
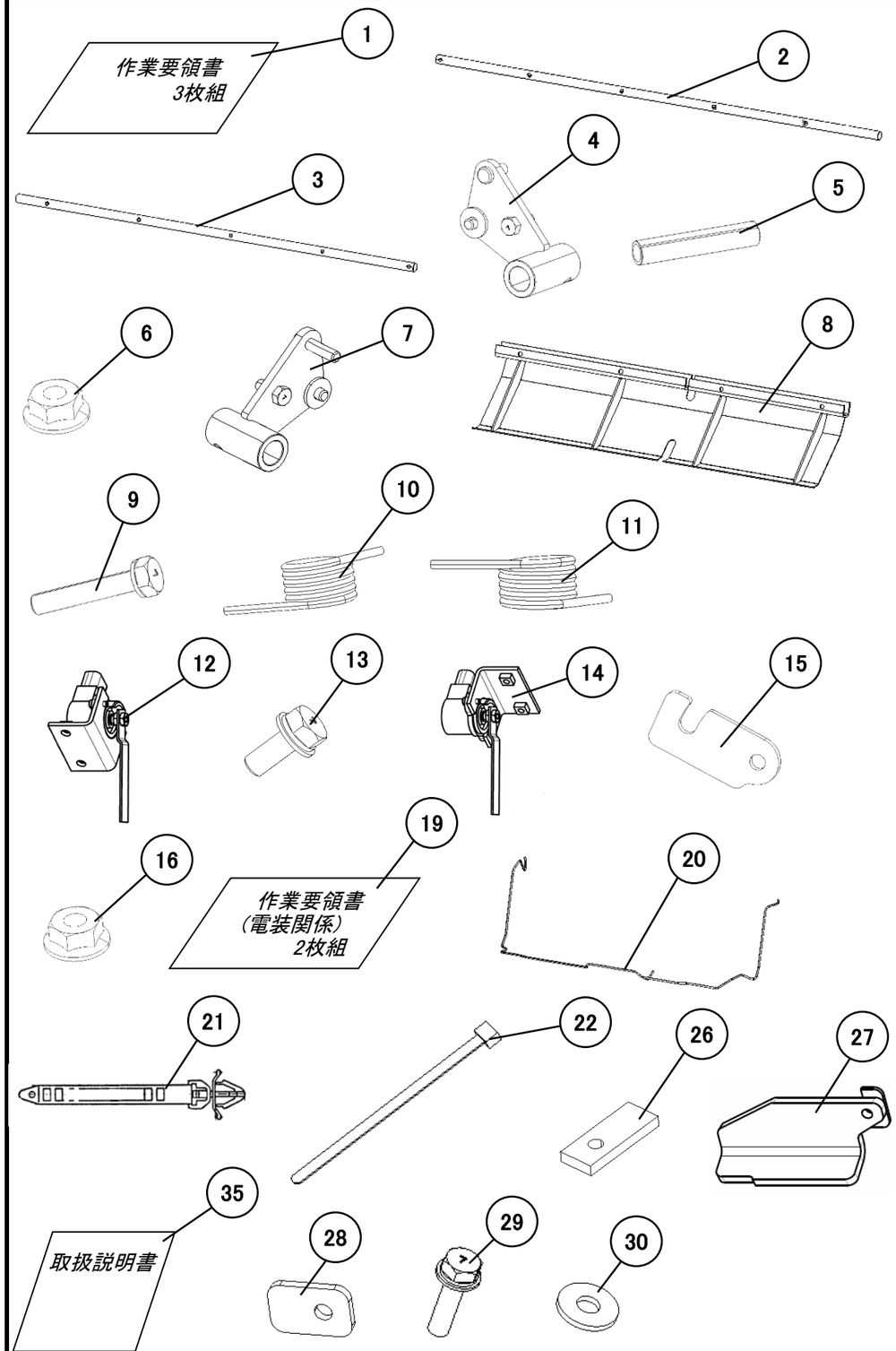


図22

(11)電装部品を組付けます。(詳細は作業要領書2を参照します)

(12)手順(1)～(2)で外したカバーを取り付けます。

汎用コンバイン650型/750型　対地平行・刈高さキット（部品一覧表）



NO	部　品　名　称	数 量	備　　考
1	CHART,INSTALLATION 1	1	作業要領書［本紙含む3枚組み］
2	SHAFT L	1	シャフトL(945mm)
3	SHAFT R	1	シャフトR(853mm)
4	ARM L	1	アームL
5	PIN SPRING	2	スプリングピン
6	NUT	10	M6フランジナット
7	ARM R	1	アームR
8	SLEIGH	2	ソリ
9	BOLT	8	M6 Sワッシャ付ボルト(35mm)
10	SPRING L	1	スプリングL
11	SPRING R	1	スプリングR
12	POTENTIOMETER ASSY L	1	ポテンショメータアッシL
13	BOLT	4	M6 ワッシャ＋Sワッシャ付ボルト(16mm)
14	POTENTIOMETER ASSY R	1	ポテンショメータアッシR
15	STOPPER	2	ストッパ
16	NUT	2	M8フランジナット
17			
18			
19	CHART,INSTALLATION 2	1	作業要領書（電装関係）［2枚組］
20	HARNESS S	1	センサ用ハーネス
21	BAND	4	ワイヤバンド
22	BAND WIRE	6	ワイヤバンド
23			
24			
25			
26	PLATE L	1	プレートL
27	PLATE R	1	プレートR
28	PLATE	1	プレート
29	BOLT	2	M6 ワッシャ＋Sワッシャ付ボルト(25mm)
30	WASHER	1	ワッシャ(φ22 t2.3)
31			
32			
33			
34			
35	INSTRUCTION	1	取扱説明書

1.配索部品配置図

配索部品構成は、作業要領書1に記載してあります。

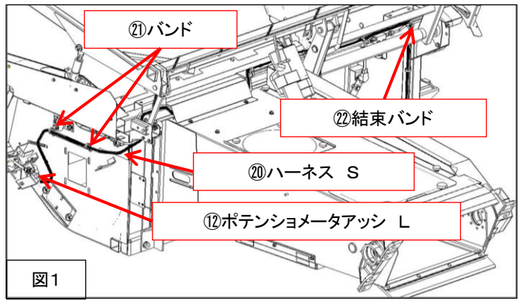


図1

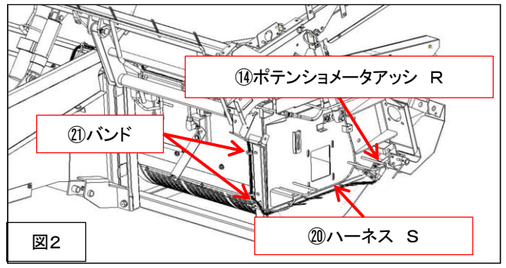


図2

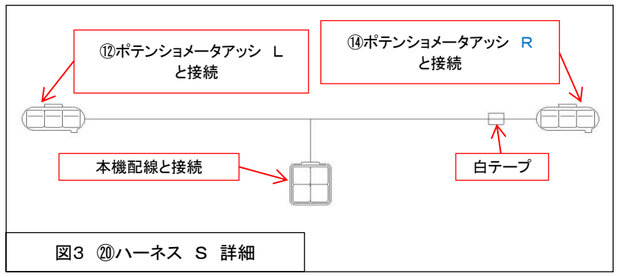


図3　⑳ハーネス　S　詳細

2.配索部品取付要領

（1）⑳ハーネスSと本機配線のテープで固定してある
　　カプラ（4極）を接続します。

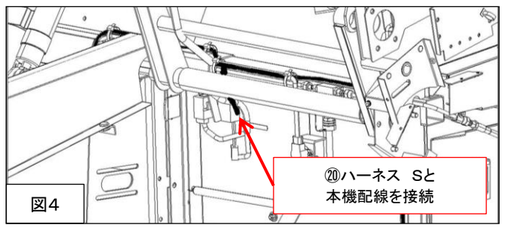


図4

（2）⑳ハーネスSの白テープが右側となるよう、刈取部配線に
　　沿って配索します。このとき、既存のバンド（2ヶ所）を外し、同じ
　　位置に刈取部配線と共に㉒結束バンドで結束します。（2ヶ所）
　　既存のバンドは外した後は使用しません。

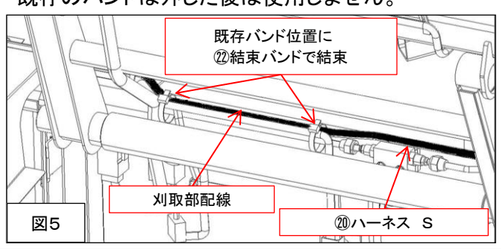


図5

（3）⑳ハーネスSの白テープ位置に㉒結束バンドで
　　パイプと共に結束します。
（4）㉑バンド（2ヶ所）をプレートの穴に差込み固定した後、
　　⑳ハーネスSを結束します。

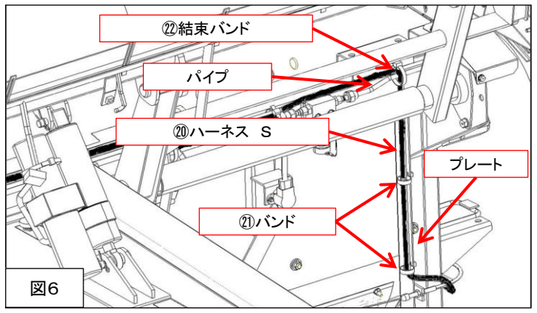


図6

（5）⑭ポテンショメータアッシRと接続した後、⑳ハーネスS
　　を溶接クランプで固定します。（3ヶ所）　このとき、
　　⑳ハーネスSのたるみは、A区間で調整します。

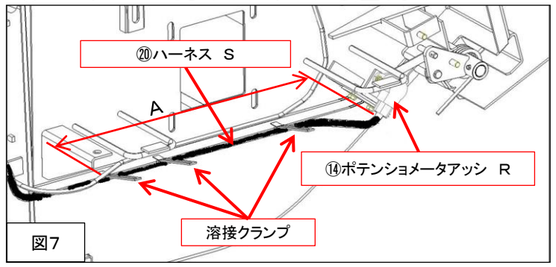


図7

（6）⑳ハーネスSの左側を刈取部配線に沿って配索します。
　　このとき、既存のバンド（3ヶ所）を外し、同じ位置に刈取部
　　配線と共に㉒結束バンドで結束します。（3ヶ所）
　　既存のバンドは外した後は使用しません。

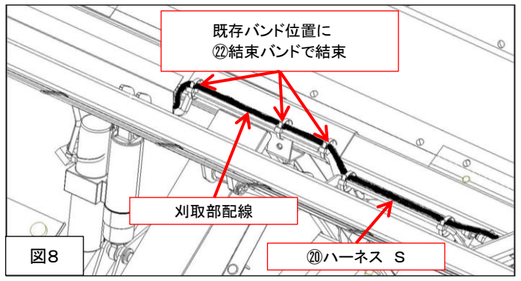


図8

（7）⑳ハーネスSを溶接クランプで固定します。
（8）㉑バンド（2ヶ所）をプレートの穴に差込み固定した後、
　　⑳ハーネスSを結束します。
（9）⑫ポテンショメータアッシLと接続した後、⑳ハーネスS
　　を溶接クランプで固定します。このとき、⑳ハーネスSの
　　たるみは、B区間で調整します。

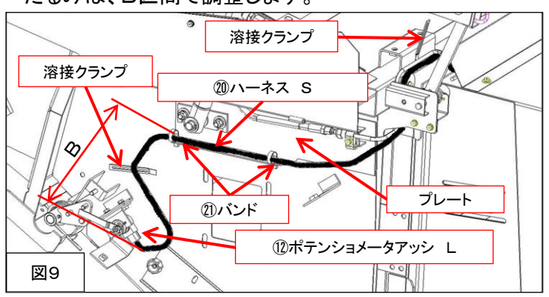


図9

※以下の内容は650型に組付ける場合と750型に組付ける場合で異なります。
本紙(1/2)には650型の作業要領を記載しています。750型に組付ける場合は
(2/2)の作業要領を参照してください。

【650型に組付ける場合】

3.センサ記憶要領

⑧ソリ収納位置、解除位置、刈取部接地位置の記憶
作業を行います。水平な場所で作業を行ってください。

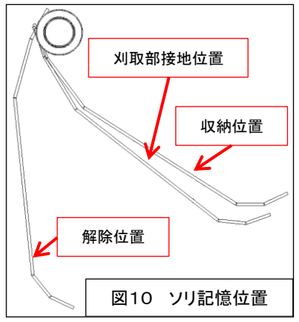


図10　ソリ記憶位置

3．1　刈取部接地位置

（1）左右の⑧ソリを解除位置にします。
　　（作業要領書1を参照してください）
（2）エンジンを始動し、刈取部が地面に接地するまでリフトを
　　下降させます。
（3）エンジンを切ります。
（4）センサ記憶モードを起動します。（メモリバックアップA）
　　主変速レバー　≪バック位置≫
　　オーガ有線リモコン　≪右≫（緑色スイッチ）を押した状態で、キーONします。
　　ブザーが2回鳴り、刈高調整ダイヤル、リール回転ダイヤル、自動スイッチ、
　　選別ダイヤル、旋回切替ダイヤルのランプが順番に≪点滅≫を繰り返します。
（5）マルチステアリングレバーのリール≪下≫スイッチを押し、対地水平ランプが
　　≪点滅≫することを確認します。
（6）刈高調整ダイヤルを≪中央≫にした状態で、リール≪下≫スイッチを押します。
（7）対地水平ランプが≪点灯≫することを確認します。

3．2　解除位置

（1）エンジンを始動し、リフトを上昇させます。
（2）エンジンを切り、⑧ソリが解除位置であることを確認します。
（3）センサ記憶モードを起動します。（上記3．1（4）を参照してください）
（4）マルチステアリングレバーのリール≪下≫スイッチを押し、対地水平ランプが
　　≪点滅≫することを確認します。
（5）刈高調整ダイヤルを≪最右≫にした状態で、リール≪下≫スイッチを押します。
（6）対地水平ランプが≪点灯≫することを確認します。

3．3　収納位置

（1）左右の⑧ソリを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）マルチステアリングレバーのリール≪下≫スイッチを押し、対地水平ランプが
　　≪点滅≫することを確認します。
（3）刈高調整ダイヤルを≪最左≫にした状態で、リール≪下≫スイッチを押します。
（4）対地水平ランプが≪点灯≫することを確認し、キーを切ります。

4　入力チェック要領

（1）入力チェックコネクタを接続し、キーONします。
（2）刈高調整ダイヤルを≪最右≫にした状態で対地刈高スイッチのノブを押し続けます。
（3）右の⑧ソリを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
　　それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
　　この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（4）刈高調整ダイヤルを≪最左≫にした状態で対地刈高スイッチのノブを押し続けます。
（5）左の⑧ソリを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
　　それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
　　この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（6）キーを切り、入力チェックコネクタを外します。

5．作動確認要領

（1）左右の⑧ソリを解除位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）対地刈高スイッチのノブを押し、対地刈高ランプが≪点滅≫することを確認します。
（3）左右の⑧ソリを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（4）対地刈高スイッチのノブを押し、対地刈高ランプが≪点滅≫しないことを確認します。

各部の配置については、取扱説明書で確認してください。

【750型に組付ける場合】

3.センサ記憶要領

⑧ソリ収納位置、解除位置、刈取部接地位置の記憶
作業を行います。水平な場所で作業を行ってください。

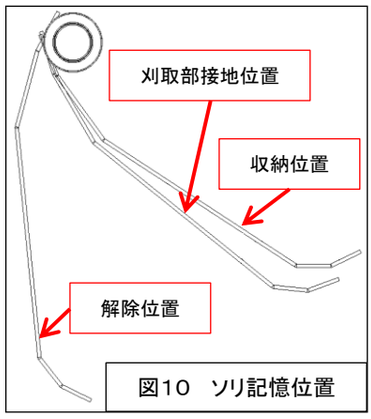


図10　ソリ記憶位置

3．1　刈取部接地位置

（1）左右の⑧ソリを解除位置にします。
（作業要領書1を参照してください）
（2）エンジンを始動し、刈取部が地面に接地するまでリフトを
下降させます。
（3）エンジンを切ります。
（4）センサ記憶モードを起動します。
決定スイッチ　≪ON≫
選択スイッチ　≪下げ≫を押した状態で、スタータキーONします。
ブザーが2回鳴り、センサ記憶モードが起動します。
（5）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2160』にします。
（6）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（7）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの刈取部接地位置を記憶します。
記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2161』が表示されます。

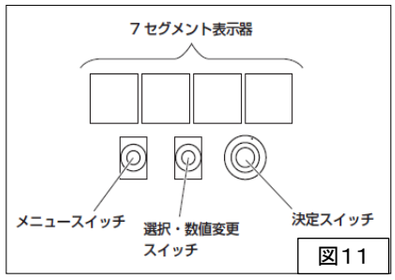


図11

3．2　解除位置

（1）エンジンを始動し、リフトを上昇させます。
（2）エンジンを切り、⑧ソリが解除位置であることを確認します。
（3）センサ記憶モードを起動します。（上記3．1（4）を参照してください）
（4）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2150』にします。
（5）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（6）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの解除位置を記憶します。
記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2151』が表示されます。

3．3　収納位置

（1）左右の⑧ソリを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）センサ記憶モードを起動します。（上記3．1（4）を参照してください）
（3）メニュースイッチと選択・数値変更スイッチでコード番号を『2140』にします。
（4）決定スイッチを押して、記憶コードを決定します。
（5）再度、決定スイッチ押して、そりセンサの収納位置を記憶します。
記憶値が正常であれば、ブザーが1回鳴り、『2141』が表示されます。

4　入力チェック要領

（1）キーONし、メニュースイッチでメニュー番号『1』にし、
決定スイッチを押してコードを『1011』にすると、入力チェックモードが起動します。
（2）刈高調整ダイヤルを≪最右≫にした状態でリール回転自動をON状態とします。
（3）右の⑧ソリを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（4）刈高調整ダイヤルを≪最左≫にした状態でリール回転自動をON状態とします。
（5）左の⑧ソリを収納位置、解除位置、刈取部接地位置にした時、
それぞれの位置でブザー断続音がすることを確認します。
この時、断続音がしない場合は、再度、センサの記憶を行ってください。
（6）キーを切ると入力チェックモード終了です。

5．作動確認要領

（1）左右の⑧ソリを解除位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（2）対地刈高スイッチを押し、対地刈高ランプが≪点滅≫することを確認します。
（3）左右の⑧ソリを収納位置にします。（作業要領書1を参照してください）
（4）対地刈高スイッチを押しても、対地刈高ランプが≪点滅≫しないことを確認します。

各部の配置については、取扱説明書で確認してください。